
スタンドバイミー

L i t a l y

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スタンドバイミー

【Nコード】

N8804P

【作者名】

L i t t a l y

【あらすじ】

お前の言いたい事は分かってる。覆せ。俺が許す。

夜、暗闇を照らすライトの光は闇を退けもするし、同時に背後の闇をより一層深くもする。

光が強ければ強いほど、その後ろに広がる闇は深くなる。

憧れる人がいる。

そうはなれない自分がいる。

不甲斐無い。

鬱屈。

影。

憧れのソレに嫉妬する自分がいる。

そんな自分に自己嫌悪してる自分がいる。

遠ざけたい、近づきたい。

矛盾。

影。

光は影を作る。

照射される光が強いほど、影も深くなる。

当たり前のように高みを手にしてる人。

どれだけ頑張っても、地べたから頬を引き剥がせない人。

勝者と敗者。

この世に平等なんてない。

並べば必ず優劣がつく。

生まれた時から、あらゆる条件に差異がある。

勝者には喝采と恵みを。

敗者には誹りと惨めさを。

それが世界のルールなら、そのルールをここいらでぶっ壊そうと思う。

いや結構マジで。

おい、俺とそっくりの不景気なツラした軟弱者ども。

牙を剥こうぜ。

勝者にじゃない。

運命にだ。

抗おうぜ。

ひれ伏してやるな。

頂垂れて倒れようとするお前の背中を無理やり支えて立たせる行為は、優しさなんかじゃなくて、俺の手前勝手なエゴだ。

けどこれは俺の人生だから、俺は俺のエゴでそれをする。

間違っちゃいないだろ。

間違ってるって罵られたって知ったこっちゃないよ。

だってこれは俺の人生なんだから。

だから、俺が倒れそうになったら支えろ。
優しさはいらない。

お前のエゴでそれをしてくれ。

おい、ちからを持て余したヒーロー！。

お前はそこで輝いてろ。

押しつけがましい優しさで輝きを濁すな。

太陽が消えれば闇の住人に安らぎが訪れるなんて思うな。

お前はお前のままでいいんだ。

お前はたまたまそこに立ってた。

俺はたまたまここに立ってた。

それだけの事だ。

どこに立ってたって一緒なんだ。

幸せになりたいのはさ。

願いを抱いて生きてる。

強者も、弱者も、そこだけは一様に等しく。

だからお前はお前で輝いてろ。

お前が生まれ持った羽根を捨てるのは優しさじゃない。
ただのエゴだ。

お前はお前の羽根で精一杯飛べ。

生まれ持った羽根を隠蔽して、地べたを歩く事が「寄り添って生きる事」じゃない。

生まれ持ったちからの責任を負って、羽根で羽ばたいて、その上で地をゆく人たちの苦悩を受け止める。

辛いだろうが、受け止める。

逃げるな。

眼を背けるな。

お前には羽根があつて、彼らには無い。

その現実を直視するのは辛いだろうが、向き合え。

お前が手前勝手な甘さで羽根をたたむ時、羽根の無い俺たちはもつと惨めな気持ちになる。

その事を忘れるな。

俺たちは自分の足で高みまで駆け上がるよ。

地べたを這つてたつて、坂を登り続けりや雲だつて突き抜けられるんだ。

出来ないはずはないだろ？

羽根を有したお前と、羽根の無い俺たちが同じ高さで並ぶ事。

俺たちには這いずり回れる手足が残されてる。

高みを目指したい、純粋な感情が残されてる。

どれだけ這いずり回っても正しく輝けない俺は美しいだろ？

輝けなくても這いずり回る俺は美しいだろ？
分かってるよ。

俺は美しいんだよ。
誰が何と言おうがさ。

お前には分かるだろ？
俺が何言ってるか。

闇を知らない人達の綺麗事なんて知ったこっちゃないよ。
そんなん吐くつもりもないし、聞くつもりも無い。
興味ないよそんなの。

どれだけ闇を抱えてたって、輝けなくなっても、人は美しさを宿す事が出来る。

晴れの日に清々しく笑うのは容易いよ。

土砂降りの雨に打たれながら、それでも頬の筋肉引きつらせて笑おうとする時、そこに美しさは宿るんだ。

生まれ持った強者が勝ち続けるのは美談でもなんでもない。
持ち得なかった弱者が奮い立つ時、伝説は始まるんだ。

さあ行こうぜ。

俺とお前のシケた物語を、伝説に転じる頃合いだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8804p/>

スタンドバイミー

2011年1月8日23時24分発行